

ごくらくじきゅうけいだいいせき

極楽寺旧境内遺跡

(鎌倉市No.291遺跡)

調査期間 20080323～20080513

所在地 鎌倉市極楽寺二丁目

時代 中世



作成日:20080912

概要

本遺跡は、急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査として行われました。

遺跡は極楽寺から北東に延びる^{やと ばばがやつ}谷戸(馬場ヶ谷)の中ほどに位置し、平成17年度から断続的に行われた調査は、今回で6次調査となります。これまで小谷戸の崖裾・平場の発掘調査を行い、やぐら3基、やぐら前面遺構、

^{そせきたてもものあと}礎石建物跡、溝、土坑、ピット、^{じぎょう}地業面などが見つかっています。

この6次調査では、5次調査で確認された崖面を削って作った平場の続きが確認されました。特に今回の調査では、4号やぐらの前庭と、やぐらを意識した前面の平場の状況、さ

^{ひなだん}らに周囲を雛壇状にして溝を掘るといった、様相を確認することができたことが大きな成果として挙げられるでしょう。また、4号やぐらでは、やぐらの使用が終わったあとの

^{へいそく}閉塞状況が確認されたことも重要な成果といえます。



▲調査区全景



▲4号やぐら完掘状況